

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2002-533510(P2002-533510A)

【公表日】平成14年10月8日(2002.10.8)

【出願番号】特願2000-589617(P2000-589617)

【国際特許分類】

C 08 L 21/00 (2006.01)
C 08 L 7/00 (2006.01)
C 08 L 9/00 (2006.01)
C 08 L 23/00 (2006.01)
C 08 L 23/16 (2006.01)
C 08 L 23/22 (2006.01)
C 08 L 51/00 (2006.01)
C 08 L 53/00 (2006.01)
C 09 J 121/00 (2006.01)
C 09 J 123/00 (2006.01)
C 09 J 123/16 (2006.01)
C 09 J 123/22 (2006.01)
C 09 J 151/00 (2006.01)
C 09 J 153/00 (2006.01)
D 06 M 15/227 (2006.01)
D 06 M 15/693 (2006.01)
D 06 M 101/20 (2006.01)
D 06 M 101/32 (2006.01)
D 06 M 101/34 (2006.01)

【F I】

C 08 L 21/00
C 08 L 7/00
C 08 L 9/00
C 08 L 23/00
C 08 L 23/16
C 08 L 23/22
C 08 L 51/00
C 08 L 53/00
C 09 J 121/00
C 09 J 123/00
C 09 J 123/16
C 09 J 123/22
C 09 J 151/00
C 09 J 153/00
D 06 M 15/227
D 06 M 15/693
D 06 M 101:20
D 06 M 101:32
D 06 M 101:34

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】金属、成形された極性ポリマー及び紡織纖維に対する接着性を有する熱可塑性エラストマーであって、前記熱可塑性エラストマーが、

a) 動的に架橋されたゴム、

b) 約20乃至約400部の、約10乃至約26.5重量%の結晶度及び約5,000psi(34.5MPa)乃至約20,000psi(138MPa)の曲げ弾性率(タンジェント)を有する第1のポリオレフィン、及び

c) 約10乃至約200重量部の、側鎖状の極性官能基を有する官能化されたポリオレフィンであって、前記極性官能基が前記官能化されたポリオレフィンの全繰り返し単位の約0.5乃至約3.5モル%で存在し、前記官能化されたポリオレフィンが、少なくとも1つのモノオレフィンを半結晶性ポリマーに重合することから誘導されるか、又はブロックコポリマーのポリジエンブロックを水素添加することから誘導される、官能化されたポリオレフィン、

を含み、そして 前記重量部が、架橋されたゴムの100重量部に基づくものである、熱可塑性エラストマー。